

分科会名称；腫瘍内科遠隔医療分科会

分科会長氏名；砂川 優

分科会長所属；聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座

分科会長連絡 E-mail；y.sunakawa@marianna-u.ac.jp

1. 分科会の目的

がん薬物療法・がんゲノム医療におけるオンライン診療、D to D 体制構築、遠隔指導など遠隔医療の活用と普及、エビデンス創出に取り組む

2. 令和 7（2025）年度活動実績と成果

- ・ 定期 web meeting 開催（3-4 週間毎）
- ・ 医療従事者とがん患者を対象としたがん領域におけるオンライン診療の実態・認識に関するアンケート調査（JTTA2024 にて発表）の論文化、投稿作業
- ・ JTTA2025 にて分科会セッションシンポジウムを企画、開催
テーマ：『遠隔診療・Dx でがん診療は良くなるのか？』

座長	氏名	ふりがな	所属			
	砂川 優	すなかわ ゆう	聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座			
	松永 拓真	まつなが たくま	株式会社MICIN			
■ 演者						
演題番号	氏名	ふりがな	所属	演題名	発表	質疑応答
1	公平 誠	ごだいら まこと	医療法人慈公会 公平病院	がん診療におけるオンライン診療活用の実例	12 分	2 分
2	弘末 美佐	ひろすえ みさ	高知大学医学部附属病院がん治療センター	がん診療における遠隔看護面談～実態調査から考える地方県におけるCGP検査に対する取り組み～	12 分	2 分
3	谷口 浩也	たにぐち ひろや	愛知県がんセンター 薬物療法部	がん領域におけるオンライン診療の現状と将来像	12 分	2 分
4	川端 紗智重	かわばた さちえ	国立がん研究センター中央病院	DCT（オンライン診療）の現状と臨床試験における生成AI・DXの活用	12 分	2 分
5	浅野 健人	あさの けん	大阪大学医学部附属病院未来医療開発部臨床研究センター	臨床試験における生成AIの活用	12 分	2 分
総合討論					20	分
合計					90	分

- ・ がん診療連携拠点病院における遠隔地域コンサル体制の構築
ファイザー助成金制度へ申請し採択された
- ・ 遠隔診療を利用した「がん遺伝子パネル検査」の実装を目指した取り組み
➡令和 10 年度に遠隔診療におけるがん遺伝子パネル検査の要望書の提出を目指す

3. 令和 8（2026）年度活動計画

- ・遠隔診療を利用した「がん遺伝子パネル検査」の実装を目指した取り組み
先進医療を利用した遠隔での遺伝子パネル検査の実装
- ・がん診療連携拠点病院における遠隔地域コンサル体制の構築
ファイザー助成金制度を利用して体制の実証を行う
- ・JTТА2026 にてがん関連シンポジウムを開催

